

命まもることを最優先に

志位委員長菅首相に緊急提案

日本共産党の志位和夫委員長は19日、記者会見し、新型コロナによる感染爆発、医療崩壊が深刻化するもとの、政府がとるべき対応として3つに絞った緊急提案（「コロナから命を守るための緊急提案」）を発表しました。

日本共産党

① 症状に応じて必要な医療をすべての患者に提供する

東京都では、コロナ全療養者の圧倒的多数が「自宅療養」を余儀なくされ、実際に家族全員がコロナ感染し死者が出るなどの痛ましい出来事が連日のように報じられている。

●「原則自宅療養」の方針を公式に撤回し、症状に応じて必要な医療を全ての患者に提供

することを大原則にすえる。

●医療機能を強化した宿泊療養施設や臨時の医療施設の大規模な増設・確保を図る。

●医師・看護師確保のために、すべての医療機関への減収補てんと財政支援、すべての医療従事者に対する待遇の抜本的改善を図る。

② 感染伝播の鎖を断つために大規模検査を実行する

どんなに医療体制を強めても、新規患者が次々増える状況では、破たんは免れない。感染伝播（でんば）の鎖を断つための検査を「いつでも、誰でも、何度でも」の立場で従来の枠にとどまらず大胆・大規模に行う。

●特に感染が大規模になっている事業所、学校、保育園、学童クラブ等への大規模検査を政府主導で実行する。行政検査の抜本的拡充、集団検査を国が思い切った補助を行って推進する。

③ パラリンピックを中止し、命を守る対策に集中する

東京五輪開催が感染爆発を招いたことは明らか。パラリンピック中止を直ちに決断し、

命を守る対策に全力を。子どもたちをパラリンピック観戦に動員するなど論外、中止を。

子どもの感染が急増



緊急提案について記者会見する畑野君枝衆院議員（右）と吉良よし子参院議員（25日、文科省内）

共産党が緊急提案

デルタ株による子どもへの感染が急増しています。共産党は、夏休み明けの学校の感染対策について緊急提案を政府に行いました（25日）。かつてない事態に知恵と力を集め、社会全体で乗り切ることが求められます。

学校再開で感染爆発に拍車をかけることは絶対に避けなければなりません。緊急事態宣言の地域などの学校再開は柔軟にすべきです。登校を見合わせたい子どもには、それを可能とし、学びなどを支援する。身体的距離をとるため分散登校にする。オンライン授業を活用する—これらを適切に組

み合わせることが重要です。

教室でのエアゾル感染（空気感染）対策では空気を短時間で入れ替える、不織布マスクの着用が重視されます。

新学期 学校での対策徹底を